

● 東北の元気、日本の元気を青森から

# 令和元年度復興施策シート

八戸市復興計画推進市民委員会

## 1. 被災者の生活再建

八戸市

令和元年7月5日

## ○復興施策シート目次

### 1. 被災者の生活再建

(1) 生活支援の充実	1
(2) 住宅確保の支援	10
(3) 雇用対策の強化	16
(4) 暮らしの安心確保	20

## ○施策シートの見方

### ・目指す姿：

復興計画の「第2 施策の基本方向」に基づき、当該項目について、特定の時点を定めず、将来的に「このようになっていたらよい」という姿を掲載しています。

### ・市民アンケートにおける現状評価：

平成31年2月に実施した「市民アンケート」における各施策についての現状評価を点数化し、掲載しています（「十分満たされている」を4点、「まあまあ満たされている」を3点、「あまり満たされていない」を2点、「ほとんど満たされていない」を1点とし、当該回答者数（「判断できない」を除く。）で割った平均値で、4点満点。）。

平成31年市民アンケート調査報告書を参照してください。

### ・施策の工程：

復興計画における当該施策の内容毎の工程表を掲載しています。

### ・参考指標の動向：

当該施策の動向を把握する上で参考となる指標を掲載しています。

※この指標をもって当該施策の達成度を測るものではありません。

### ・施策を構成する主要事業：

当該施策を構成している、創造的復興プロジェクト等の主要な事業です。

【実施状況】は平成30年度(又は30年度まで)の実施状況、【今後の予定】は令和元年度以降の実施状況及び予定を記載しています。事業名に◆がついている事業は、創造的復興プロジェクト事業です。また、★印がついている事業は、八戸市総合計画の戦略プロジェクトにも位置づけられている事業です。さらに、事業名の隣に次の事業区分を記載しています。

完了…平成30年度に完了した事業

追加…策定時の復興計画に未登載で、今回追加した事業

### ・事業費：

市が事業主体の事業について、平成30年度の決算（見込）額、令和元年度の予算額を記載しています。なお、決算（見込）額及び予算額には、繰越事業費分を含み、事業費には、人件費（事業費支弁以外）を含みません。

### ・施策を取り巻く課題や論点：

意見を頂くための行政側からとらえた課題や論点です。意見を述べるにあたっての参考としてください。

1. 施策情報

基本方向	1. 被災者の生活再建																																																																																													
施策名	1 - (1) 生活支援の充実																																																																																													
施策の概要	<p>目指す姿</p> <p>生活資金・就学支援等の支援制度のほか、関係機関と連携した相談窓口体制が整い、被災者の生活支援が充実している。</p>																																																																																													
	<p>市民アンケートにおける現状評価</p> <p>【設問】生活資金等の貸付や就学支援の充実、相談窓口の整備等により、被災者が必要な生活支援を受けられている。</p> <p>【点数】 H29 : 2.4 H30 : 2.7 H31 : 2.6</p>																																																																																													
	<p>施策の工程</p> <p>The chart shows five main measures: ①生活支援体制の整備 (ongoing), ②支援金等の給付 (H23-H26), ③生活資金等の貸付 (ongoing), ④児童生徒の就学支援と教育相談の充実 (ongoing), and ⑤税・手数料等の減免・徴収猶予 (H23-H24).</p>																																																																																													
	<p>参考指標の動向</p> <p>○被害の状況 <span style="float:right">平成31年3月31日 現在</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全壊</th> <th>大規模半壊</th> <th>半壊</th> <th>一部破損</th> <th>床下浸水</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家屋調査 住家被害</td> <td>254棟</td> <td>147棟</td> <td>477棟</td> <td></td> <td></td> <td>878棟</td> </tr> <tr> <td>り災証明書 発行件数</td> <td>264件</td> <td>157件</td> <td>467件</td> <td>818件</td> <td>91件</td> <td>1,797件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○支援金等給付の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">災害見舞金</th> <th rowspan="2">生活必需品</th> <th colspan="2">災害救援物資給付(配布人数)</th> <th colspan="2">被災者生活再建支援(支給件数)</th> <th rowspan="2">災害援護 資金貸付金</th> </tr> <tr> <th>食料品</th> <th>家電品</th> <th>基礎支援金</th> <th>加算支援金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>875件</td> <td>1,044件</td> <td>433人</td> <td>660人</td> <td>492件</td> <td>400件</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td>610,059千円</td> <td>25,749千円</td> <td></td> <td></td> <td>370,625千円</td> <td>435,750千円</td> <td>92,800千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○貸付状況</p> <p>○減免の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">市税(市民税/固定/軽自)の減免</th> <th colspan="2">国民健康保険税</th> <th colspan="2">保育所保育料減免</th> <th colspan="2">後期高齢者医療保険料減免</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,057件</td> <td>87,267,896円</td> <td>656件</td> <td>52,265,600円</td> <td>66件</td> <td>9,815,090円</td> <td>759件</td> <td>11,120,700円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">介護保険料減免</th> <th colspan="2">国民年金保険料(申請件数)</th> <th colspan="2">下水道使用料減免</th> <th colspan="2">水道料金減免</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>22年度分</th> <th>23年度分</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>401件</td> <td>24,363,060円</td> <td>81件</td> <td>85件</td> <td>327件</td> <td>5,692,301円</td> <td>859件</td> <td>36,593,270円</td> </tr> </tbody> </table>		全壊	大規模半壊	半壊	一部破損	床下浸水	合計	家屋調査 住家被害	254棟	147棟	477棟			878棟	り災証明書 発行件数	264件	157件	467件	818件	91件	1,797件	災害見舞金	生活必需品	災害救援物資給付(配布人数)		被災者生活再建支援(支給件数)		災害援護 資金貸付金	食料品	家電品	基礎支援金	加算支援金	875件	1,044件	433人	660人	492件	400件	42件	610,059千円	25,749千円			370,625千円	435,750千円	92,800千円	市税(市民税/固定/軽自)の減免		国民健康保険税		保育所保育料減免		後期高齢者医療保険料減免		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	2,057件	87,267,896円	656件	52,265,600円	66件	9,815,090円	759件	11,120,700円	介護保険料減免		国民年金保険料(申請件数)		下水道使用料減免		水道料金減免		件数	金額	22年度分	23年度分	件数	金額	件数	金額	401件	24,363,060円	81件	85件	327件	5,692,301円	859件
	全壊	大規模半壊	半壊	一部破損	床下浸水	合計																																																																																								
家屋調査 住家被害	254棟	147棟	477棟			878棟																																																																																								
り災証明書 発行件数	264件	157件	467件	818件	91件	1,797件																																																																																								
災害見舞金	生活必需品	災害救援物資給付(配布人数)		被災者生活再建支援(支給件数)		災害援護 資金貸付金																																																																																								
		食料品	家電品	基礎支援金	加算支援金																																																																																									
875件	1,044件	433人	660人	492件	400件	42件																																																																																								
610,059千円	25,749千円			370,625千円	435,750千円	92,800千円																																																																																								
市税(市民税/固定/軽自)の減免		国民健康保険税		保育所保育料減免		後期高齢者医療保険料減免																																																																																								
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																																							
2,057件	87,267,896円	656件	52,265,600円	66件	9,815,090円	759件	11,120,700円																																																																																							
介護保険料減免		国民年金保険料(申請件数)		下水道使用料減免		水道料金減免																																																																																								
件数	金額	22年度分	23年度分	件数	金額	件数	金額																																																																																							
401件	24,363,060円	81件	85件	327件	5,692,301円	859件	36,593,270円																																																																																							

**凡例**

事業 No.	復興計画の事業名	事業区分 (完了・追加)	<事業主体>	事業費	H30 決算	千円
					R01 予算	千円
【事業概要】		【実施状況】		【今後の予定】		
		H30 年度(又は H30 年度まで)の状況		R1 年度以降の状況・予定		

**2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）**

**①生活支援体制の整備**

No.01	被災者総合相談窓口の設置	<b>H23 完了</b>
-------	--------------	---------------

No.02	避難所巡回相談	<b>H23 完了</b>
-------	---------	---------------

No.03	避難所健康相談	<b>H23 完了</b>
-------	---------	---------------

No.04	避難所医療チームの巡回	<b>H23 完了</b>
-------	-------------	---------------

No.05	◆災害ボランティアセンターの開設	<b>H23 完了</b>
-------	------------------	---------------

No.06	避難世帯応援チームの結成	<b>H23 完了</b>
-------	--------------	---------------

No.07	り災証明の早期発行	<事業主体> 市	事業費	H30 決算	0 千円
				R01 予算	0 千円
【事業概要】		【実施状況】		【今後の予定】	
り災者が必要な支援制度等を早期に利用するための、り災証明書の早期発行		◎り災証明書の発行状況 <期間> H23. 3. 14～ <件数 (H31 年 3 月末現在) > ・全壊 264 件 ・大規模半壊 157 件 ・半壊 467 件 ・床下浸水 91 件 ・一部破損 818 件 計 1,797 件		浸水被害等、既に調査済みで、り災証明書未申請の場合には、り災証明書の申請を受付し、市の被害調査票との照合等により「り災程度」を判定し数日中に発行	
No.08	各種被災支援制度の受付事務のワンストップ化	<事業主体> 市	事業費	H30 決算	0 千円
				R01 予算	0 千円
【事業概要】		【実施状況】		【今後の予定】	
各種被災支援制度の申請に係るり災証明書等の添付書類の一括処理や、申請情報の共有による申請受付事務のワンストップ化の実施		◎申請受付事務のワンストップ化開始 <期間> H23. 4. 1～ ◎災害見舞金の給付、市税の徴収猶予をワンストップ対象に追加 <期間> H23. 4. 8～		事業継続実施	

No.09	生活再建相談事業の実施	H25 完了
-------	-------------	--------

No.10	個人の二重ローン問題への支援	<事業主体> 市・その他	事業費	H30 決算 R01 予算	一千円 一千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>			
震災の影響により弁済不能となった個人の既往債務に対する東日本大震災・自然災害被災者債務整理ガイドライン運営機関による支援	<p>◎個人の二重ローン問題への支援</p> <p>&lt;内容&gt;法的破産手続きによらず、第三者機関が支援しながら、債権者と債務者の合意に基づいた債務整理を公正かつ迅速に行う。</p> <p>◎市消費生活センターにおける相談対応</p> <p>&lt;内容&gt;債務整理相談を受付し、必要に応じ個人版私的整理ガイドライン等の案内、誘導を行う。</p>	事業継続実施			

## ②支援金等の給付

No.11	被災者生活再建支援金の給付(再掲)	<事業主体> 国・県・市	事業費	H30 決算 R01 予算	一千円 一千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>			
被災者生活再建支援法に基づき、災害により居住する住宅が著しい被害を受けた方への支援金の支給	<p>◎基礎支援金 (370,625,000円)</p> <p>&lt;支給額&gt; 全壊100万円/解体100万円 長期避難100万円/大規模半壊50万円</p> <p>&lt;申請期限&gt; H31.4.10 (災害の日から97か月)</p> <p>&lt;支給件数&gt; 492件 (H31年4月末)</p> <p>◎加算支援金 (435,750,000円)</p> <p>&lt;支給額&gt; 建設・購入200万円/補修100万円 賃借(公営住宅以外)50万円</p> <p>&lt;申請期限&gt; H31.4.10 (災害の日から97か月)</p> <p>&lt;支給件数&gt; 400件 (H31年4月末)</p> <p>※市では申請受付事務を実施</p>	R1年度(H31.4.10)で事業完了			

No.12	生活必需品の給付	H23 完了
-------	----------	--------

No.13	災害見舞金の支給	H24 完了
-------	----------	--------

No.14	県等義援金の支給	H26 完了
-------	----------	--------

No.15	災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給	H23 完了
-------	-------------------	--------



## ④児童・生徒の就学支援と教育相談の充実

No.19	被災児童・生徒への学用品の給与	H23 完了
-------	-----------------	--------

No.20	小・中・特別支援学校への転入学支援	<事業主体> 県・市	事業費	H30 決算	0 千円
				R01 予算	0 千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>			
被災地域の児童・生徒の市内小・中学校及び特別支援学校への転入学支援の実施	<p>H23. 3. 14 被災地域の児童生徒の受入開始</p> <p>◎小・中学校への転入学支援（市） 被災地域の児童生徒が八戸市内の小・中学校への転入学等を希望する場合は、住民票を異動しなくても居住地が八戸市内であれば市内の小・中学校へ転入学できる区域外就学手続きを行った上で、できるだけ速やかに受け入れる。 &lt;受入児童・生徒数&gt; 20 人（H30. 9. 10 現在） （うち 15 人は八戸市へ住民票異動済）</p> <p>◎特別支援学校への転入学支援（県） 被災地域の児童生徒が特別支援学校への転入学等を希望する場合は、可能な限りの資料等により相談に応じ、できるだけ速やかに受け入れる。 &lt;受入児童・生徒数&gt; 0 人（H31. 3. 31 現在）</p>	事業継続実施			
No.21	被災児童・生徒の就学援助	<事業主体> 国・市	事業費	H30 決算	1,262 千円
				R01 予算	1,190 千円
<b>【事業概要】</b>	<b>（実施状況）</b>	<b>【今後の予定】</b>			
被災により就学困難と認められる市内の児童生徒の保護者への就学に必要な援助費の支給及び相談の実施	<p>&lt;認定件数&gt; 13件（内訳）小学校 7件 中学校 6件</p> <p>&lt;H30年度支給金額&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学用品費等 578,367円 （内訳）小学校 237,261円 中学校 341,196円</li> <li>・給食費 682,960円 （内訳）小学校 345,280円 中学校 337,680円</li> <li>・医療費 0円 （内訳）小学校 0円 中学校 0円</li> </ul> <p>※医療費は対象となる疾病の治療に要する経費</p>	事業継続実施			

No.22	県立高校の入学料免除	H23 完了
-------	------------	--------

No.23	私立高校の授業料軽減事業の拡充	<事業主体> 県・民	事業費	H30 決算 R01 予算	一千円 一千円
<b>【事業概要】</b>	私立高校に対する就学支援金として、被災した生徒の授業料等への軽減支援措置の拡充	<b>【実施状況】</b> 学校設置者が行う震災により家計が急変した被災生徒の授業料等の減免に要する経費を県が補助 (最大で年額 356,400 円軽減)  H30 年度 県内の私立高校 3 法人 (3 校) に補助金を交付  <参考> 青森県内私立高校授業料 平均年額 372,647 円/人 (H30 年度)	<b>【今後の予定】</b>	事業継続実施	
No.24	市奨学金の返済猶予及び申請要件の緩和	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 R01 予算	0 千円 0 千円
<b>【事業概要】</b>	震災により、奨学金の償還が困難になった方への返済猶予及び震災により住家が半壊以上の被害を受けた世帯に属する方の奨学金申請における所得要件の緩和	<b>【実施状況】</b> <返済猶予申請> 1 人 (H23 年度)	<b>【今後の予定】</b>	事業継続実施 (返済猶予のみ) ※所得要件の緩和は H23 年度限り	

No.25	県等奨学金制度の拡充	<b>H23 完了</b>
-------	------------	---------------

No.26	★子どもの心のケアに関する相談	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 R01 予算	150 千円 210 千円
<b>【事業概要】</b>	こども支援センター内に震災による心のケア相談窓口の開設  学校、保護者を対象とした「心のケア学習会」の開催  「心のケア」リーフレットの作成	<b>【実施状況】</b> H27 年度より八戸市こども支援センターを設置 ◎心のケア相談窓口 震災が主訴の相談件数 0 件 (H30 年度) (過去の相談事例) ・「震災経験により、避難訓練に参加できない。」 ・「3.11 前後 (震災の時期) に子どもが不安定になるので心配だ。」 ◎「心のケア学習会」の開催 (H30 年度) H30.9.6 (西白山台小) H30.11.29 (南郷小) H30.9.7 (第一中) H30.12.10 (下長中) H30.11.28 (柏崎小) H30.12.11 (根岸小) ◎「心のケア」リーフレット H31.2.27 アニバーサリー反応について各小・中学校へ送付	<b>【今後の予定】</b>	事業継続実施 ・児童生徒の状態が深刻であったり保護者が過度に不安定であったりする場合は、臨床心理士、精神科医と連携し、心のケアなどを継続対応する。	



No.27 緊急スクールカウンセラー等の派遣

H23 完了

## ⑤税・手数料等の減免・徴収猶予

No.28 市税の減免、徴収猶予

H24 完了

No.29 保育料の減免	<事業主体> 市	事業費																											
<p><b>【事業概要】</b> 被災者世帯における保育所入所児童の保育料の減免</p>	<p><b>【実施状況】</b> ◎原発避難者特例法に基づく事務処理の特例による世帯(H24.1～) ・東日本大震災(原子力発電所の事故による災害)に伴う被災者に対し、本市保育料が避難元市町村保育料より高い場合に差額を減免する。</p> <table border="1" data-bbox="422 795 1013 1131"> <thead> <tr> <th></th> <th>&lt;減免数&gt;</th> <th>&lt;減免額&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23 年度</td> <td>3 件</td> <td>165,000 円</td> </tr> <tr> <td>H24 年度</td> <td>3 件</td> <td>594,000 円</td> </tr> <tr> <td>H25 年度</td> <td>3 件</td> <td>206,400 円</td> </tr> <tr> <td>H26 年度</td> <td>2 件</td> <td>53,000 円</td> </tr> <tr> <td>H27 年度</td> <td>1 件</td> <td>43,200 円</td> </tr> <tr> <td>H28 年度</td> <td>対象者なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29 年度</td> <td>対象者なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30 年度</td> <td>対象者なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※下記の減免措置は H23 年度で終了 ◎居住している家屋が著しい被害を受けた世帯 &lt;減免数&gt; 48 件 &lt;減免額(年間)&gt; 8,536,490 円 ◎就労先が被災したことにより失業し、前年と比較して 50%以上の所得減少が見込まれる世帯 &lt;減免数&gt; 6 件 &lt;減免額(年間)&gt; 217,000 円</p>		<減免数>	<減免額>	H23 年度	3 件	165,000 円	H24 年度	3 件	594,000 円	H25 年度	3 件	206,400 円	H26 年度	2 件	53,000 円	H27 年度	1 件	43,200 円	H28 年度	対象者なし		H29 年度	対象者なし		H30 年度	対象者なし		<p><b>【今後の予定】</b> 関係法令・通知を基に継続予定であるが、現在、対象者なし。</p>
	<減免数>	<減免額>																											
H23 年度	3 件	165,000 円																											
H24 年度	3 件	594,000 円																											
H25 年度	3 件	206,400 円																											
H26 年度	2 件	53,000 円																											
H27 年度	1 件	43,200 円																											
H28 年度	対象者なし																												
H29 年度	対象者なし																												
H30 年度	対象者なし																												
No.30 保険料の減免、徴収猶予		H24 完了																											

No.31	利用料等の減免、徴収猶予	<事業主体> 市・民	事業費	H30 決算 R01 予算	一千円 一千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>			
後期高齢者医療制度及び国民健康保険制度における被保険者の一部負担金の減免 介護保険の利用者負担金、障がい者福祉サービス、自立支援医療等の利用者負担金の減免	◎後期高齢者医療一部負担金 免除証明書発行件数 (H30 年度) 353 件 免除額 (H30. 3 月～H31. 2 月診療分) 38, 759 千円 ◎国民健康保険一部負担金 免除証明書発行件数 (H30 年度) 442 件 (1 件) 免除額 (H30. 3～H31. 2 診療分) 70, 822 千円 (209 千円) ※( )は、福島原発からの避難者分で内書き ◎介護保険 ・利用者負担額の減免 (H24 年度終了) ・介護保険施設等における食費・居住費の減免 (H23 年度終了) ◎障がい者福祉サービス (H23 年度終了)	事業継続実施 ※特定被災区域の被保険者 →R2. 3. 31 まで ※福島原発事故に伴う避難指示区域等の被保険者 →R2. 2. 29 まで			

No.32	下水道使用料等の減免・納期延長及び受益者負担金等の徴収猶予	<b>H23 完了</b>
-------	-------------------------------	---------------

No.33	被災者に係る各種証明手数料の減免等	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 R01 予算	一千円 一千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>			
被災支援申請に係る証明手数料、建築確認申請手数料、固定資産証明(滅失証明)手数料の減免	<減免実績> H30年度 ・確認申請等手数料 ・住民票 ・滅失証明書 ・台帳記載証明書  (参考) H23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度	事業継続実施			
		2件	61, 000円		
		2件	61, 000円		
		0件	0円		
		0件	0円		
		0件	0円		
		836件	2, 160, 000円		
		74件	1, 274, 400円		
		46件	552, 700円		
		30件	358, 500円		
		15件	74, 500円		
		5件	47, 900円		
		3件	47, 300円		

No.34	国税の減免、申告・納付期限の延長等	<事業主体> 国	事業費	H30 決算 R01 予算	一千円 一千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>			
被災者に対する国税の申告・納付期限の個別延長、納税の猶予、減免の実施	・H23. 3. 11 から R3. 3. 31 までに作成した被災に係る消費貸借に関する契約書や建設工事請負契約書等の印紙税を非課税 ・被災代替自動車を R3. 3. 31 までの間に取得した場合、最初の車検の際に課される自動車重量税を免除 等	事業継続実施			

No.35	県税の減免、申告・納付期限の延長等	<事業主体> 県	事業費	H30 決算 R01 予算	一千円 一千円
【事業概要】 個人事業税、不動産取得税、自動車税の減免及び県税の申告・納付等の期限の延長		【実施状況】 ・被災代替家屋・土地を R3. 3. 31 までの間に取得した場合の被災面積相当分について不動産取得税の課税標準額から控除 ・被災代替自動車を R3. 3. 31 までの間に取得した場合の自動車取得税を非課税 等		【今後の予定】 事業継続実施	

No.36	公共料金の減免、支払期限の延長等	H23 完了
-------	------------------	--------

No.37	市営バス運休に伴う定期券の払戻し	H23 完了
-------	------------------	--------

### 3. 施策を取り巻く課題や論点

- ◎各種支援施策の周知徹底
- ◎被災者の状況を踏まえた支援体制の充実
- ◎庁内及び関係機関との連携体制の強化

### 4. 復興計画推進市民委員会意見

施策を取り巻く課題や論点に対する意見
その他自由意見

## 1. 施策情報

基本方向	1. 被災者の生活再建																																															
施策名	1 - (2) 住宅確保の支援																																															
施策の概要	<p>目指す姿</p> <p>住宅の復旧・再建支援や一時入居住宅等の提供により、被災者の生活基盤となる住宅が確保されている。</p>																																															
	<p>市民アンケートにおける現状評価</p> <p>【設問】住宅の再建支援や公営住宅の整備等により、被災者の住宅が確保されている。</p> <p>【点数】H29：2.6 H30：2.8 H31：2.7</p>																																															
	<p>施策の工程</p>																																															
	<p>参考指標の動向</p> <p><b>公営住宅への一時入居戸数</b> (H31.3.31現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市営住宅</th> <th>県営住宅</th> <th>国家公務員舎</th> <th>雇用促進住宅</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0戸</td> <td>1戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>1戸</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 県営住宅:福島県被災者はR2.3月末まで入居期限延長</p> <p>(H31.4.1現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市営住宅</th> <th>県営住宅</th> <th>国家公務員舎</th> <th>雇用促進住宅</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0戸</td> <td>1戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>1戸</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 県営住宅:福島県被災者はR2.3月末まで入居期限延長</p> <p><b>災害公営住宅の入居戸数</b> (H31.4.1現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>白山台ヒルズ</th> <th>多賀台</th> <th>新井田道</th> <th>白銀いかずち</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設数</td> <td>12戸</td> <td>26戸</td> <td>17戸</td> <td>7戸</td> <td>62戸</td> </tr> <tr> <td>入居数</td> <td>12戸</td> <td>25戸</td> <td>17戸</td> <td>7戸</td> <td>61戸</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H25.4.1入居開始(白銀いかずちH25.5.1~)</p> <p>*H28.4.1より空き室を一般募集に切替え。同日付で白山台ヒルズ3戸、多賀台8戸入居。</p> <p>*H31.4.1現在、一般入居は白山台ヒルズ5戸、多賀台14戸、新井田道2戸。</p> <p><b>その他の住宅再建支援事業</b> (H30年度実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>被災者住宅再建支援事業補助金</th> <th>被災者住宅再建支援制度利子補給補助金</th> <th>住宅リフォーム補助金</th> <th>被災者定着促進事業住宅再建補助金</th> <th>被災者定着促進事業賃貸定住補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1件</td> <td>4件</td> <td>H25年度で終了</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>	市営住宅	県営住宅	国家公務員舎	雇用促進住宅	合計	0戸	1戸	0戸	0戸	1戸	市営住宅	県営住宅	国家公務員舎	雇用促進住宅	合計	0戸	1戸	0戸	0戸	1戸		白山台ヒルズ	多賀台	新井田道	白銀いかずち	合計	建設数	12戸	26戸	17戸	7戸	62戸	入居数	12戸	25戸	17戸	7戸	61戸	被災者住宅再建支援事業補助金	被災者住宅再建支援制度利子補給補助金	住宅リフォーム補助金	被災者定着促進事業住宅再建補助金	被災者定着促進事業賃貸定住補助金	1件	4件	H25年度で終了	1件
市営住宅	県営住宅	国家公務員舎	雇用促進住宅	合計																																												
0戸	1戸	0戸	0戸	1戸																																												
市営住宅	県営住宅	国家公務員舎	雇用促進住宅	合計																																												
0戸	1戸	0戸	0戸	1戸																																												
	白山台ヒルズ	多賀台	新井田道	白銀いかずち	合計																																											
建設数	12戸	26戸	17戸	7戸	62戸																																											
入居数	12戸	25戸	17戸	7戸	61戸																																											
被災者住宅再建支援事業補助金	被災者住宅再建支援制度利子補給補助金	住宅リフォーム補助金	被災者定着促進事業住宅再建補助金	被災者定着促進事業賃貸定住補助金																																												
1件	4件	H25年度で終了	1件	1件																																												

## 2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）

## ①一時入居住宅の提供

No.01	民間宿泊施設への受入	H23 完了
-------	------------	--------

No.02	公営住宅等の提供	<事業主体> 国・県・市	事業費	H30 決算 0 千円	R01 予算 0 千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>		<b>【今後の予定】</b>		
震災により居住する住宅のない方や福島原発事故に伴う避難指示地域等に居住していた方を対象に一時入居住宅として、市営・県営住宅、雇用促進住宅、国家公務員宿舎を提供	<延べ入居戸数> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅 38 戸</li> <li>・県営住宅 30 戸</li> <li>・雇用促進住宅 79 戸</li> <li>・国家公務員宿舎 43 戸</li> </ul> <一時入居期限> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅 H25. 3. 31（※県外被災者 H29. 3. 31 まで延長）</li> <li>・県営住宅 入居から 2 年間 （※県外被災者は 4 年延長・福島県被災者に限り R2. 3. 31 まで延長）</li> <li>・雇用促進住宅 H26. 3. 31（※岩手県被災者 H30. 3. 31 まで延長）</li> <li>・国家公務員宿舎 H25. 3. 31</li> </ul>		一時入居期限 <県営住宅> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県被災者に限り R2. 3. 31 まで</li> </ul>		

No.03	公営住宅等の避難者受入整備	H28 完了
-------	---------------	--------

## ②住宅の再建支援

No.04	住宅の応急修理制度の実施	H23 完了
-------	--------------	--------

No.05	被災家屋の安全性に関する相談	H23 完了
-------	----------------	--------

No.06	被災者生活再建支援金の給付(再掲)	<事業主体> 国・県・市	事業費	H30 決算 R01 予算	-千円 -千円
<b>【事業概要】</b> 被災者生活再建支援法に基づき、災害により居住する住宅が著しい被害を受けた方への支援金の支給	<b>【実施状況】</b> ◎基礎支援金 (370,625,000円) <支給額> 全壊100万円/解体100万円 長期避難100万円/大規模半壊50万円 <申請期限> H31.4.10 (災害の日から97か月) <支給件数> 492件 (H31年4月末)  ◎加算支援金 (435,750,000円) <支給額> 建設・購入200万円/補修100万円 賃借(公営住宅以外)50万円 <申請期限> H31.4.10 (災害の日から97か月) <支給件数> 400件 (H31年4月末)  ※市では申請受付事務を実施	<b>【今後の予定】</b> R1年度(H31.4.10)で事業完了			
No.07	災害復興住宅融資の実施	<事業主体> 住宅金融支援機構	事業費	H30 決算 R01 予算	-千円 -千円
<b>【事業概要】</b> 被災した住宅の復旧のための建設資金、購入資金又は補修資金の融資及び既存ローンの返済猶予等	<b>【実施状況】</b> <融資金利> ・建設・購入 0.02%(6~10年目)、0.55%(11年目以降) ・補修 0.55%(6年目以降) <元金据置期間及び返済期間> ・建設・購入 最長5年据置、据置期間分延長 ・補修 最長1年据置、返済期間延長なし ※市は住宅金融支援機構からの委託により、現場審査・購入物件審査を実施  ◎現場審査実施 <平成23年度実績> 3件 36,750円 <平成24年度実績> 2件 63,000円 <平成25年度実績> 1件 0円 <平成26年度実績> 1件 26,250円 <平成27年度実績> 1件 37,800円 <平成28年度実績> 0件 0円 <平成29年度実績> 0件 0円 <平成30年度実績> 0件 0円	<b>【今後の予定】</b> ・現場審査・購入物件審査は機構からの終了通知があるまで実施 ・随時、建築指導課にて受付			

No.08	青森県安全安心住宅リフォーム促進事業(再掲)	H23完了
-------	------------------------	-------

No.09	安全安心住宅リフォーム促進事業(再掲)	H25完了
-------	---------------------	-------



No.12	被災者定着促進事業	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 R01 予算	2,620 千円 22,840 千円
<p><b>【事業概要】</b> 全壊、大規模半壊または半壊の被害を受けた被災者に対し、住宅の再建費用等または一時入居先から賃貸住宅への転居費用を補助</p>	<p><b>【実施状況】</b> &lt;制度内容&gt; ◎住宅再建補助金 補助金額：契約額の2分の1 (再建方法により上限あり) ・新築、増築又は新築住宅を購入する場合、 ※津波被災者が津波浸水区域外の宅地を購入する場合：400万円 ※津波被災者が津波浸水区域内で宅地、基礎のかさ上げをする場合：300万円 ※その他：250万円 ・中古住宅を購入する場合：200万円 ◎賃貸住宅定住補助金（転居費用の補助） ・被災者2名以上の世帯：16万円 ・被災者1名の世帯：12万円</p> <p>&lt;H26年度実績&gt; ◎住宅再建補助金 55,000千円（17件） (内25年度からの繰越7件) ◎賃貸住宅定住補助金 2,240千円（15件）</p> <p>&lt;H27年度実績&gt; ◎住宅再建補助金 33,000千円（11件） (内26年度からの繰越2件) ◎賃貸住宅定住補助金 0千円（0件）</p> <p>&lt;H28年度実績&gt; ◎住宅再建補助金 25,840千円（8件） (内27年度からの繰越4件) ◎賃貸住宅定住補助金 0千円（0件）</p> <p>&lt;H29年度実績&gt; ◎住宅再建補助金 11,000千円（3件） (内28年度からの繰越2件) ◎賃貸住宅定住補助金 400千円（3件）</p> <p>&lt;H30年度実績&gt; ◎住宅再建補助金 2,500千円（1件） (内29年度からの繰越0件) ◎賃貸住宅定住補助金 120千円（1件）</p>	<p><b>【今後の予定】</b> 事業継続実施 R1年度 ◎住宅再建補助金 22,000千円（7件） (内H30年度からの繰越1件) ◎賃貸住宅定住補助金 840千円（6件）</p>			

## ③災害公営住宅の提供

No.13	災害公営住宅の整備	H25完了
-------	-----------	-------



No.14	災害公営住宅家賃の軽減	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 R01 予算	0 千円 0 千円
<b>【事業概要】</b> 災害公営住宅の入居者のうち、特に収入の低い入居者について、収入に応じて家賃を軽減		<b>【実施状況】</b> 東日本大震災復興交付金（東日本大震災特別家賃低減事業）を活用し、下記のとおり軽減措置を講じている。 <対象者> 収入額（月額）8万円以下の入居者 計 28件 <実績> ・収入区分1： 0円 22件 ・収入区分2： 1～40,000円 3件 ・収入区分3：40,001～60,000円 0件 ・収入区分4：60,001～80,000円 3件 軽減額合計（年額） 3,217,000円		<b>【今後の予定】</b> 事業継続実施 R1年度の見込み 対象者 29件 軽減額合計（年額） 3,273,600円	

### 3. 施策を取り巻く課題や論点

- ◎住宅再建のニーズを踏まえた各種支援制度の利用促進及び相談体制の充実
- ◎被災者の恒久的な住宅の確保

### 4. 復興計画推進市民委員会意見

施策を取り巻く課題や論点に対する意見
その他自由意見

1. 施策情報

基本方向	1. 被災者の生活再建																																																		
施策名	1 - (3) 雇用対策の強化																																																		
施策の概要	<p>目指す姿 緊急雇用の創出や事業者への雇用支援、離職者等への職業訓練等により、雇用対策が強化され、職を失った被災者等の経済的自立が図られている。</p> <p>市民アンケートにおける現状評価 【設問】 求人・就職のマッチングや UIJ ターン希望者に対する支援などにより、市内における雇用が増えている。 【点数】 H29 : 1.9 H30 : 2.2 H31 : 2.2</p> <p>施策の工程</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="3">復旧期</th> <th colspan="3">再生期</th> <th colspan="3">創造期</th> </tr> <tr> <td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td> <td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td> <td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td> </tr> <tr> <td colspan="9">①雇用機会の創出</td> </tr> <tr> <td colspan="9">②雇用の維持</td> </tr> <tr> <td colspan="9">③離職者等の職業能力開発の充実</td> </tr> </table>	復旧期			再生期			創造期			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	①雇用機会の創出									②雇用の維持									③離職者等の職業能力開発の充実													
復旧期			再生期			創造期																																													
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31																																											
①雇用機会の創出																																																			
②雇用の維持																																																			
③離職者等の職業能力開発の充実																																																			
参考指標の動向	<p>参考指標の動向</p> <p style="text-align: center;">八戸公共職業安定所管内の月別有効求人倍率</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>八戸公共職業安定所管内の月別有効求人倍率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>3月</th> <th>6月</th> <th>9月</th> <th>12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>0.44</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td></td> <td>0.73</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td></td> <td></td> <td>0.83</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.97</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.12</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.40</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.59</td> </tr> </tbody> </table>	年度	3月	6月	9月	12月	H23	0.44				H24		0.73			H25			0.83		H26				1.00	H27				0.97	H28				1.12	H29				1.40	H30				1.50	H31				1.59
年度	3月	6月	9月	12月																																															
H23	0.44																																																		
H24		0.73																																																	
H25			0.83																																																
H26				1.00																																															
H27				0.97																																															
H28				1.12																																															
H29				1.40																																															
H30				1.50																																															
H31				1.59																																															

## 2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）

## ①雇用機会の創出

No.01	緊急雇用創出事業の拡充	H27 完了
-------	-------------	--------

No.02	★雇用奨励金の交付	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 180 千円 R01 予算 3,484 千円
【事業概要】	【実施状況】	【今後の予定】		
障がい者、未就職 新規高卒者、離職者 などを雇用した事 業主に対する奨励 金の交付	<p>①障がい者雇用奨励金 月額10千円/人（重度障がい者は、月額20千円/人） 短時間労働障がい者 月額6千円/人 （重度障がい者は、月額12千円/人） ・H30年度交付実績 1社2名120千円</p> <p>②新規高等学校卒業者雇用奨励金 月額10千円/人 ・H30年度交付実績 なし</p> <p>③離職者雇用奨励金 月額10千円/人 ・H30年度交付実績 1社1名60千円</p>	事業継続実施		

No.03	青森県未来への挑戦資金の拡充	H24 完了
-------	----------------	--------

No.04	★無料職業紹介事業の実施	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 3,826 千円 R01 予算 3,431 千円
【事業概要】	【実施状況】	【今後の予定】		
震災による離職 者等への雇用支援 アドバイザーによ る相談及び職業紹 介の実施	<p>◎産業労政課内の八戸市無料職業紹介所（H22. 10. 1 開設）で取り扱う求人企業へ就職を希望する求職 者の求職登録及び職業紹介</p> <p>◎雇用支援アドバイザーによる職業相談受付</p> <p>◎ホームページを活用した求人・求職者等の情報提 供 など</p> <p>H30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 求人登録数 378人</li> <li>・ 求職登録数 129人</li> <li>・ 紹介数 84件</li> <li>・ 就職数 14人</li> <li>・ 職業相談数 184件</li> <li>・ 来所者数 313人</li> </ul>	事業継続実施		

No.05	県発注公共工事等における緊急雇用対策等の実施	H24 完了
-------	------------------------	--------

No.06	★八戸市雇用創出戦略ビジョンの推進	H28 完了
-------	-------------------	--------

## ②雇用の維持

No.07	雇用支援連絡会議の運営	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 6千円 R01 予算 30千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>		
関係機関による震災の影響を受けた事業主や従業員に関する情報等の収集・共有及び国の経済雇用対策の効果的な活用等に関する協議	<p>国・県・市及び関係機関の実務者で構成する雇用支援連絡会議の開催を検討していたが、県主催による雇用支援施策検討連絡会議が設置され、青森労働局や雇用対策協議会等、関係機関との情報共有や連携強化が図られた。</p> <p>○県内就職・UIJ ターン雇用支援施策検討連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30年7月、31年2月の2回開催</li> <li>・参集範囲：青森労働局、各地区雇用対策協議会、同協議会設置8市、民間人材ビジネス事業者、県関係課</li> </ul>	引き続き、県の雇用支援施策検討連絡会議に参画し、関係機関と情報共有を図りながら、雇用施策の効果的な発信や連携強化を図るほか、労働力確保に関する施策立案のための効果的な仕組みを検討する。		

No.08	雇用調整助成金の支給	<b>H27完了</b>
-------	------------	--------------

## ③離職者等の職業能力開発の充実

No.09	★フロンティア八戸職業訓練助成金制度の実施	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 4,756千円 R01 予算 4,849千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>		
若年未就職者の早期就職を図るための職業訓練経費の助成	<p>&lt;対象訓練&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で実施されている厚生労働大臣指定教育訓練講座</li> <li>・労働安全衛生法に基づく技能講習</li> </ul> <p>&lt;対象者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・44歳以下の若年未就職者</li> </ul> <p>&lt;助成額&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講料等対象訓練経費の45%（上限15万円）</li> </ul> <p>&lt;対象訓練経費&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学科及び受講料（教材費含む）</li> </ul> <p>H30年度 交付決定者 42人 交付額 4,755,770円</p>	事業継続実施		
No.10	★技能者養成に対する補助	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 627千円 R01 予算 645千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>		
職業訓練法人等に対する運営費の一部助成	<p>&lt;助成額&gt; 一職業訓練法人 300千円 訓練生1人あたり 3千円</p> <p>H30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業訓練法人八戸職業能力開発協会 327千円</li> <li>・職業訓練法人八戸調理職業訓練協会 300千円</li> </ul>	事業継続実施		

No.11 職業訓練コースの新設

H23 完了

**3. 施策を取り巻く課題や論点**

- ◎有効求人倍率の維持
- ◎災害分野及び新分野・成長分野における震災離職者等の雇用機会の創出
- ◎雇用維持に向けた中小企業等への支援の充実

**4. 復興計画推進市民委員会意見**

施策を取り巻く課題や論点に対する意見

その他自由意見

1. 施策情報

基本方向	1. 被災者の生活再建																																																																						
施策名	1 - (4) 暮らしの安心確保																																																																						
施策の概要	<p>目指す姿 医療・保健・福祉が充実するとともに、震災がれきの処理や環境モニタリング等により生活環境が充実し、市民のより安全・安心な生活が確保されている。</p> <p>市民アンケートにおける現状評価 【設問】町内会等と連携した取組により、健康教室などの健康づくり活動や災害時要援護者等の見守り体制の強化等が図られている。 【点数】 H29 : 2.5 H30 : 2.7 H31 : 2.6</p> <p>施策の工程</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr style="background-color: #ffe0b2;"> <th colspan="2">復旧期</th> <th colspan="3">再生期</th> <th colspan="5">創造期</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> <tr> <td colspan="10">①健康づくりの促進</td> </tr> <tr> <td colspan="10">②医療体制の整備</td> </tr> <tr> <td colspan="10">③福祉サービスの充実</td> </tr> <tr> <td colspan="10">④災害廃棄物等の処理</td> </tr> <tr> <td colspan="10">⑤生活環境の監視体制の強化</td> </tr> </table>	復旧期		再生期			創造期					H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	①健康づくりの促進										②医療体制の整備										③福祉サービスの充実										④災害廃棄物等の処理										⑤生活環境の監視体制の強化									
復旧期		再生期			創造期																																																																		
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																														
①健康づくりの促進																																																																							
②医療体制の整備																																																																							
③福祉サービスの充実																																																																							
④災害廃棄物等の処理																																																																							
⑤生活環境の監視体制の強化																																																																							
参考指標の動向	<p>◎災害廃棄物処理状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>総量</th> <th>処理済量(処理率)</th> <th>完了</th> </tr> <tr> <td>約 157,690t</td> <td>100%</td> <td>H25.3末</td> </tr> </table> <p>◎放射線・放射性物質等の検査状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査地点</th> <th>調査年月</th> <th>放射性物質</th> <th>空間放射線量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水浴場</td> <td>2海水浴場</td> <td>H30.5、H30.8</td> <td>不検出</td> <td>異常なし</td> </tr> <tr> <td>公園</td> <td>15公園</td> <td>H29.10</td> <td>不検出</td> <td>異常なし</td> </tr> <tr> <td>水道水</td> <td>3ヶ所</td> <td>H24.4~H25.10</td> <td>不検出</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	総量	処理済量(処理率)	完了	約 157,690t	100%	H25.3末	区分	調査地点	調査年月	放射性物質	空間放射線量	水浴場	2海水浴場	H30.5、H30.8	不検出	異常なし	公園	15公園	H29.10	不検出	異常なし	水道水	3ヶ所	H24.4~H25.10	不検出	-																																												
総量	処理済量(処理率)	完了																																																																					
約 157,690t	100%	H25.3末																																																																					
区分	調査地点	調査年月	放射性物質	空間放射線量																																																																			
水浴場	2海水浴場	H30.5、H30.8	不検出	異常なし																																																																			
公園	15公園	H29.10	不検出	異常なし																																																																			
水道水	3ヶ所	H24.4~H25.10	不検出	-																																																																			

## 2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）

## ①健康づくりの促進

No.01	心と体の健康支援	<事業主体> 県・市	事業費	H30 決算 R01 予算	0 千円 0 千円
【事業概要】 被災者等の心身の健康支援のため、保健師・看護師等による健康相談や家庭訪問等の実施		【実施状況】 ◎継続支援が必要な被災者や一般市民に、庁内健康相談、電話相談、家庭訪問等により随時対応 ◎公営住宅・災害公営住宅入居世帯及び全壊・大規模半壊世帯を対象に家庭訪問を実施 ・H30.4～H31.3（361世帯全数の健康状況を把握） ◎被災者支援を行っている庁内関係課（8課）で「東日本大震災被災者支援の情報交換会」を開催		【今後の予定】 事業継続実施	

No.02	【復興】八戸市環境・健康フェスタの開催	H23 完了
-------	---------------------	--------

## ②医療体制の整備

No.03	★ドクターカーの運行	<事業主体> 連携中枢都市圏8市町村等	事業費	H30 決算 R01 予算	15,251 千円 13,997 千円
【事業概要】 連携中枢都市圏8市町村内の救命救急医療の充実を図るため、市立市民病院へのドクターカーの配備及び運行		【実施状況】 ◎運行実績（運行開始 H22.3.29） ・出動件数（うち市内） H30年度 1,558件（1,175件）		【今後の予定】 事業継続実施	
No.04	◆★総合保健センターの整備(再掲)	<事業主体> 市・民	事業費	H30 決算 R01 予算	983,840 千円 4,878,723 千円
【事業概要】 田向地区に、災害時における医療・健康対策の拠点となる総合保健センターを整備		【実施状況】 H29年度 ・用地取得 ・建設工事 H30年度 ・建設工事の継続		【今後の予定】 ・建設工事（工期 R2.2.28 まで） ・外構工事 ・事務什器、医療機器の取得 ・供用開始に向けた移転作業	

## ③福祉サービスの充実

No.05	児童扶養手当等の災害特例	H24 完了
-------	--------------	--------

No.06	各種サービスの申請期間の延長等	H23 完了
-------	-----------------	--------

No.07	◆★災害時要援護者支援事業の 推進(再掲)	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 1,166 千円 R01 予算 1,258 千円
【事業概要】 重度の障がい者 や要介護度の高い 人などの要援護者 に対する災害時に おける支援体制の 整備・推進		【実施状況】 ①災害時要援護者名簿の更新・地域支援者への提供 ・統合型 GIS と連動した新マップシステムの運用 ・民生委員や自主防災会等への名簿提供(年 2 回) ②要援護者支援に関する自主防災会等との協定締結 ③広報誌等による制度周知、協定締結の呼び掛け ④救急医療情報キットの配布(高齢福祉課との連携) ⑤民生委員を通じ、災害時要援護者名簿情報の更新  ※災害時要援護者登録者数 H30. 3. 31 現在 4,142 人 (うちひとり暮らし高齢者 1,320 人) H31. 3. 31 現在 3,885 人 (うちひとり暮らし高齢者 1,774 人)		【今後の予定】 事業継続実施

No.08	乳幼児等医療費助成事業の災害特例	H24 完了
-------	------------------	--------

## ④災害廃棄物等の処理

No.09	被災家屋の解体・運搬支援	H23 完了
-------	--------------	--------

No.10	災害廃棄物の収集運搬処理	H25 完了
-------	--------------	--------

No.11	津波被害によるし尿汲み取り料金の支給	H23 完了
-------	--------------------	--------

No.12	災害等廃棄物処理経費(広域分)	H24 完了
-------	-----------------	--------

## ⑤生活環境の監視体制の強化

No.13	水浴場の放射線物質測定(再掲)	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 86 千円 R01 予算 87 千円
【事業概要】 市内の水浴場の放 射性物質濃度等の測 定及び結果の公表		【実施状況】 白浜及び蕪島海水浴場において、表層の海水の放 射性物質濃度及び砂浜の空間線量率の測定を、開設 前(H30.5月)及び開設中(H30.8月)の2回実施 <調査結果> ・海水の放射線物質:2水浴場ともに不検出 ・砂浜の空間線量率:2水浴場ともに異常なし <公表方法> 市のホームページに掲載		【今後の予定】 事業継続実施 H31.4.24 水浴場にて開設前の 測定を実施 <調査結果> ・海水の放射線物質:不検出 ・砂浜の空間線量率:異常なし ※開設中の測定は7月に実施 予定



No.14	大気環境中のアスベスト濃度調査の実施		H24 完了	
No.15	市庁敷地内放射線量モニタリングと公表(再掲)	<事業主体> 国	事業費	H30 決算 一千円 R01 予算 一千円
	<b>【事業概要】</b> 原子力施設周辺など県内 23 か所における空間放射線量率等の測定及び結果の公表	<b>【実施状況】</b> H24. 4 から市庁敷地内に固定型モニタリングポストを設置し、空間放射線量率を測定 (H23 年度に設置していた可搬型モニタリングポストは撤去) <調査期間> H23. 3. 30～(継続中) <調査結果> これまでの測定の結果、異状なし < 公表 > 市庁本館 1 階ロビー 市のホームページ(毎日更新)	<b>【今後の予定】</b> 事業継続実施	
No.16	公共用水域の緊急モニタリング調査		H23 完了	
No.17	浄水場の放射性物質モニタリングと公表(再掲)		H27 完了	
No.18	災害廃棄物の放射線量測定		H24 完了	
No.19	下水道汚泥の放射性物質測定		H24 完了	
No.20	県外災害廃棄物の放射線量測定		H25 完了	
No.21	公園土壌中の放射性物質濃度の測定		H29 完了	
No.22	小・中学校等の放射線量の測定		H24 完了	

No.23	市民による放射線量の測定	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 R01 予算	81 千円 83 千円
【事業概要】 市民参加型空間放射線量測定会の実施及び簡易型空間放射線量測定器の貸出		【実施状況】 ◎市民参加型空間放射線量測定会 市内 15 か所の公園で実施 (H23 年度・H24 年度) ※H24 年度で終了  ◎市民への簡易型空間放射線量測定器の貸出 <実施期間> H24. 2~H31. 3 <貸出件数> 延べ 130 件 (市民個人、町内会などの団体)		【今後の予定】 市民への測定器貸出を継続実施	

No.24	農林水産物の放射性物質濃度の測定(再掲)	<b>H29 完了</b>			
-------	----------------------	---------------	--	--	--

No.25	水産物の放射性物質濃度の測定(再掲)	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 R01 予算	349 千円 355 千円
【事業概要】 八戸港に水揚げされる水産物について、県のモニタリング調査を補完し、当市産水産物の安全性をPRするため、放射性物質濃度分析を実施		【実施状況】 H24. 12~ ・放射性物質濃度分析装置の整備 (1 台) ・水産物の放射性物質濃度分析の実施 ・市のホームページで結果公表  H29. 11 検査体制の見直し  H29. 10 月まで・・・水揚げ毎に販売前の検査を実施 H29. 11 月以降・・・1 週間に 1 回、販売日中の検査  ※H25 年度以降、当市で実施している 2 品目 (マダラ、サバ) については、水産物の放射性セシウムの基準値 (100Bq/kg) 超過はない。		【今後の予定】 事業継続実施	

No.26	学校給食用食材の放射性物質検査	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 R01 予算	84 千円 108 千円
【事業概要】 学校給食用食材のより一層の安全・安心確保を図るため、給食用食材の放射性物質の検査を実施		【実施状況】 ◎食材の事前検査 ・検査場所 西地区給食センター ・検査期間 H24. 8. 22~定期的 ・検査項目 放射性セシウム濃度 (セシウム 134、137)  ・検査対象 使用量、使用頻度の高い主要な一般食品 ・対 応 食品衛生法で定める基準値の 1/2 以上の放射性セシウムが検出された場合、その食材を給食として提供せず、県教育委員会が精密検査を実施 ・公 表 市及び県ホームページ  ◎給食まるごと検査 ・H26 年度で事業完了		【今後の予定】 事業継続実施	

**3. 施策を取り巻く課題や論点**

- ◎被災者の心身の健康保持の促進
- ◎災害時における保健・医療・福祉の体制整備と連携の強化
- ◎生活環境の監視体制の充実と結果の周知

**4. 復興計画推進市民委員会意見**

施策を取り巻く課題や論点に対する意見

その他自由意見